

製品安全データシート

1. 製品・会社情報

製品名 : タケシールSG サフ
 会社名 : 竹林化学工業株式会社
 住所 : 大阪府東大阪市渋川町3丁目1番43号
 担当部門 : 品質管理部(担当者 大江吉郎)
 電話番号 : 06-6721-6165
 FAX 番号 : 06-6720-7308
 緊急連絡先 : 06-6721-6165
 奨励用途と使用上の制限 : 工業用
 整理番号 :
 作成 : 2012年7月6日 改定

2. 危険有害性の要約

最重要危険有害性及び影響 : 有害性あり

GHS分類

物理化学的危険性

引火性液体 : 区分2

健康に対する有害性

眼損傷性/刺激性 : 区分2

生殖毒性 : 区分2

特定標的臓器/全身毒性(単回暴露)

: 区分1

: 区分3

特定標的臓器/全身毒性(反復暴露)

: 区分2

吸引性呼吸器有害性 : 区分2

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語 : 危険

危険有害性情報

: 引火性の高い液体および蒸気
 飲み込むと有害のおそれ
 重篤な眼への刺激。
 生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い
 臓器の障害。(腎臓、中枢神経系、全身毒性)
 呼吸器への刺激のおそれ、眠気またはめまいのおそれ。
 長期にわたる、または、反復暴露による臓器の障害。(血管、肝臓、脾臓)
 飲み込み、気道に侵入すると有害のおそれ。

注意書き

予防策

: すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
 (製造者/供給者または規制当局が指定する) 保護手袋および眼鏡、顔面用の保
 護具を着用すること。
 熱/火花/裸火/高温のような着火源から遠ざけること。 - 禁煙
 静電気放電に対する予防措置を講ずること。
 取扱い後はよく手を洗うこと。

使用しない時は、容器を密閉しておくこと。

粉じん/ヒューム/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
直ちに医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合：多量の水と石鹸で洗うこと。
皮膚刺激が生じた場合、医師の診断/手当てを受けること。

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

誤って飲み込んだ場合：水で口の中を洗浄し、直ちに医師の処置を受ける。
被災者に意識がない場合には、口から何も与えてはならない。

保管：直射日光を避け、熱/火花/裸火/高温のような着火源のない場所に保管すること。

その他：環境への放出を避けること。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区分：混合物
成分及び含有量：イソプロピルアルコール 約 15%
その他、樹脂・充填材・水・添加剤等 約 85%

化学式又は構造式：C₃H₈O
官報公示整理番号(化審法)：(2)-207
CAS番号：67-63-0

4. 応急措置

吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
直ちに医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合：多量の水と石鹸で洗うこと。
皮膚刺激が生じた場合、医師の診断/手当てを受けること。

目に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

飲み込んだ場合：水で口の中を洗浄し、直ちに医師の処置を受ける。被災者に意識がない場合には、口から何も与えてはならない。

応急処置をする者の保護：救済者は、ゴム手袋、ゴーグル等の適切な保護具を着用する。

5. 火災時の措置

消火剤：粉末消火薬剤、泡消火薬剤、二酸化炭素、耐アルコール性泡、砂。

使ってはならない消火剤：棒状の水。

特定の危険有害性：燃焼ガスには、一酸化炭素や窒素酸化物等の有害ガスが含まれるので、消火作業の際には、煙の吸入を避ける。

特有の消火方法：火元への燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消火する。消火作業は、可能な限り風上から行う。関係者以外は安全な場所に退避させる。周囲の設備などに散水して冷却する。消火のための放水等により、製品もしくは化学物質が河川や下水に流出しないよう適切な措置を行う。

消火を行う者の保護：消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を着用する。燃焼ガスには、一酸化炭素、窒素酸化物等の有害ガスが含まれるので、消火作業の際には適切な呼吸用保護具を着用し、煙の吸入を避ける。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

- : 付近の着火源となるものを取り除く。
- 屋内の場合には、処理が終わるまで充分換気をする。
- 漏出した場所の周辺にロープを張るなどして、関係者以外の立ち入りを禁止する。
- 作業の際は有機ガス用防毒マスク、またはガス濃度が高い時は自給式空気呼吸きの保護具を着用し並びに眼および皮膚への保護具を着用して作業を行う。
- 風上から作業し、風上の人を退避させる。

環境に対する注意事項
除去方法

- : 漏出物を河川や下水に直接流してはいけない。
- : 少量の場合、吸着剤(土・砂・珪等)で吸着させて取り除いた後、ごく僅かな残留物を大量の水で洗い流す。多量の場合、盛り土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてからドラム等に回収する。必要に応じて中和処理を行う。

二次災害の防止策

- : 付近の着火源となるものを速やかに取り除くとともに消火剤を準備する。床を濡れた状態で放置すると滑り易く、スリップ事故の原因となるため注意する。漏出物の上をむやみに歩かない。火花を発生しない安全な用具を使用する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策 : 取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。
- 注意事項 : 火気厳禁。
- 安全取扱い注意事項 : 作業場の換気を十分に行う。保護眼鏡、保護手袋等の適切な保護具を着用。取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。

保管

- 適切な保管条件 : 屋内の通気の良い場所で容器を密閉し保管する。火気厳禁。
- 安全な容器包装材料 : 製品使用の容器に準ずる。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策

- : 蒸気またはヒュームやミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。機械類は防爆構造とし、設備は静電気対策を実施する。

管理濃度

- : 200 ppm(イソプロピルアルコール)

許容濃度

- 日本産業衛生学会 : (2005年度版) 400 ppm、980 mg/m³(イソプロピルアルコール)
- ACGIH : (2003年度版) TLV - TWA 200 ppm
STEL 400 ppm (イソプロピルアルコール)

保護具

- 呼吸器用の保護具 : 有機溶剤用防毒マスク等を使用する。
- 手の保護具 : 不浸透性(耐薬品、耐油、耐溶剤)保護手袋。
- 目の保護具 : 側板付保護眼鏡(必要によりゴーグル型または全面)
- 皮膚及び身体の保護具 : 静電気防止加工長袖作業衣等。
- 適切な衛生対策 : 取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态

- 形状 : 液体
- 色 : 褐色
- 臭い : 特異臭あり
- 臭いの閾値 : データなし。
- pH : データなし。
- 物理的状态が変化する特定の温度/温度範囲

沸点	: 82.4 (イソプロピルアルコール)
融点	: - 89.5 (イソプロピルアルコール)
分解温度	: データなし。
引火点	: 11.7 (イソプロピルアルコール)
発火点	: 456 (イソプロピルアルコール)
爆発特性	
爆発限界 上限	: 12.7% (イソプロピルアルコール)
爆発限界 下限	: 2.0% (イソプロピルアルコール)
蒸気圧	: 4.44kPa (20、イソプロピルアルコール)
蒸気密度 (空気 = 1.0)	: 2.1 (イソプロピルアルコール)
比重	: -
溶解性	
水溶解性	: 可溶
溶媒溶解性	: 不溶
n-オクタノール / 水分配係数	: -
自然発火温度	: -
その他のデータ	: -

10. 安定性及び反応性

安定性	: 通常の取扱い条件においては、光、熱、衝撃に対して化学的に安定。
反応性	: 強酸化剤と反応し、火災や爆発の危険性をもたらす。(イソプロピルアルコールとして)
爆発性	: 情報なし。
避けるべき条件	: 高温。
混蝕危険物質	: 強酸化剤 (イソプロピルアルコールとして)
危険有害な分解生成物	: 情報なし。
その他	: 情報なし。

11. 有害性情報

急性毒性 (経口)	: ラット LD50 3437mg/Kg (イソプロピルアルコール)
(吸入)	: ラット LC50 72600mg/Kg (イソプロピルアルコール)
(経皮)	: ウサギ LD50 4059mg/Kg (イソプロピルアルコール)
皮膚腐食性 / 刺激性	: -
眼損傷性 / 刺激性	: 重篤な眼への刺激
呼吸器感作性又は皮膚感作性	: -
生殖細胞変異原性	: -
発ガン性	: -
IARC	: -
日本産業衛生学会	: -
生殖毒性	: 生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い
特定標的臓器 / 全身毒性 単回暴露	: 臓器 (腎臓、中枢神経系、全身毒性) の障害。 呼吸器への刺激のおそれ、眠気またはめまいのおそれ。
特定標的臓器 / 全身毒性 反復暴露	: 長期にわたる、または、反復暴露による臓器の障害。(血管、肝臓、脾臓)
吸引性呼吸器有害性	: 飲み込み、気道に侵入すると有害のおそれ。

12. 環境影響情報

生態毒性	: データなし。
残留性 / 分解性	: データなし。
生体蓄積性	: データなし。

土壌中の移動度 : データなし。
 その他のデータ : データなし。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 : おがくず、ウエス、珪藻土、吸着マットなどに吸着させ、免許を持った産業廃棄物処理業者に内容物を明記して処理を委託する。
 汚染容器・包装 : 空容器を廃棄する場合には、内容物を完全に除去した後に処分する。

14. 輸送上の注意

国内法規制陸上輸送 : 消防法、労働安全衛生法等に定められている運送方法に従う。
 海上輸送 : 船舶安全法に定められている運送方法に従う。
 航空輸送 : 航空法に定められている運送方法に従う。
 国際法規制 : 航空輸送はIATA、および海上輸送はIMDGの規則に従う。
 国連分類 : クラス3(引火性液体類)
 国連番号 : 1219
 容器等級 : PG
 国連品名 : -
 輸送の特定の安全対策及び条件 : 輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。消防法危険物第4類第2石油類に該当するので、同法の規定に従った容器、積載方法により輸送する。

15. 適用法令

国内適用法
 化審法 : 特定化学物質・監視化学物質に該当しない。
 消防法 危険物 : 第4類 アルコール類 危険等級 水溶性
 安衛法 危険物 : 危険物(引火性のもの)
 表示 : イソプロピルアルコール
 有機則 : 第2種有機溶剤
 特化則 : -
 通知対象物質 : イソプロピルアルコール
 毒物劇物取締法 : 否
 船舶安全法 : 引火性液体
 航空法 : 引火性液体
 化学物質管理促進法(PRTR法)
 : -
 海洋汚染防止法 : -
 悪臭防止法 : -

16. その他の情報

ここに記載した情報は、当社の最善の知見に基づくものですが、情報の完全さ、正確さを保証するものではありません。全ての化学製品には未知の有害性がありうるため、取扱には細心の注意が必要です。使用前のテストを含め本品の適性に関する決定は使用者の責任において行ってください。